



怖いものなんて
何もなかった

NO CALL NO LIFE

優希美青 井上祐貴

犬飼貴丈 小西椋子 山田愛奈 駒木根葵汰
篠原篤 熊木陸斗 大水洋介 和田聰宏 諏訪太郎 木下ほうか
永岡佑 桜井ユキ

脚本・監督：井樫彩

原作：壁井ユカコ『NO CALL NO LIFE』(角川文庫刊)

主題歌：「ふたりがいい」とけた電球

製作：堀義貴 / 藤田浩幸 / 川村英己 / 多湖慎一 / 河原達 / 渡辺勝也 / 斎藤晃 / 黒石和宏

エグゼクティブ・プロデューサー：津嶋敬介 企画・プロデュース：佐藤慎太郎 プロデューサー：楠智晴

音楽：松本淳一 撮影：早坂伸 (J.S.C.) 照明：田島慎 録音：西條博介 美術監督：山下修待 編集：宮島竜治 (J.S.E.) 音響効果：廣中桃李

衣裳：藤山晃子 ヘアメイク：反町雄一 助監督：田口桂 制作担当：高瀬博行 宣伝プロデューサー：篠友子

企画・制作：ホリプロ 宣伝：MUSA 配給：アークエンタテインメント

製作：「NO CALL NO LIFE」製作委員会(ホリプロ/電通/アークエンタテインメント/メ〜テレ/ハーキュリーズ/トーン/東放学園/ノスプロクター)

2021年/日本/カラー/アメリカンビスタ/DCP5.1ch/107分/P G-12 ©2021 映画「NO CALL NO LIFE」製作委員会

nocallnolife.jp

PG12
映 借

運命と呼ぶには静かすぎる出会いで、
愛と呼ぶには幼すぎる2人だった。



ホリプロ60周年記念作品

コアなファンを獲得している壁井ユカコの同名小説「NO CALL NO LIFE」(角川文庫刊)の実写映画化が遂に実現。親からの愛情を知らずに育った主人公の女子高校生・有海と、同じ境遇の不良少年・春川。壊れそうなほど脆く、不安定な思春期の2人が織りなす痛いほどに切ないラブストーリーが誕生しました。監督は2016年に公開された映画「溶ける」で日本人最年少でカンヌ国際映画祭への出品を果たし、初長編作「真っ赤な星」でも注目を集める25歳の井樫彩。更に企画・制作プロデューサーも20代という、次世代を担う若手クリエイターによって描かれます。悲しい過去を背負った女子高校生・有海を演じるのは、映画「GOZEN 純恋の剣」でヒロインを演じ注目を集めた優希美青。そして、自由きままな不良少年・春川を演じるのは、2019年からOAされた連続ドラマ「ウルトラマンタイガ」で主演を務めた井上祐貴。

有海と春川は、過去からの謎めいた電話をきっかけに出会い、急速に距離を詰めていく。しかし幼すぎる2人の愛は、予想もしない衝撃的な結末へと加速していくのだった。

W主演の2人の他には、犬飼貴丈、小西桜子、山田愛奈、駒木根葵汰といったフレッシュな注目株の俳優陣に加え、篠原篤、熊木陸斗、太水洋介、和田聰宏、諏訪太郎、木下ほうか、永岡佑、桜井ユキといった多彩な演技陣が集結しました。



原作
壁井ユカコ
「NO CALL NO LIFE」
(角川文庫刊)

主題歌
とけた電球
「ふたりがいい」

